

## 大山街道八王子道ウォーク第15回レポート

### 第15回橋本駅から原当麻駅

実施日 2022（令和4）年11月16日（水）天候 快晴

参加者 折本 文雄、前北 勝司、中田 信義、中島 征雄 計4名

歩行距離：12.2km。累計歩行距離 139.1km。

全体所要時間：4時間07分。移動時間：3時間20分。停止時間：47分。

移動平均速度：3.7km/h。全体平均速度：2.97km/h。

大山街道八王子道は橋本五差路交差点で東西二本のコースに分かれる。東コースは橋本五差路交差点から西コースと合流する才戸橋までです。五差路交差点の東側の町名は「大山町」。

今回も集合時間よりかなり早く全員がそろったので、9時07分に橋本駅南口を出発。橋本駅南口を出て右の信号を左折し、次の信号交差点を左折し、第11回で通った道を進み、「橋本の棒杭」を通り、中学校のある突き当りを右折すると国道16号線にでるので左折する。（9：22）五差路交差点の左側の町名は「大山町」で、大山街道と何らかの関係があるのか。五差路交差点は地下道をくぐって国道16号線を渡って南側に出て（9：28）国道129号線を進む。国道を両側の工場群を見ながら、只たんと進んだ約1.6～1.7km先の「下の原交差点」を横切り、交差点を渡って30m程で左の細い道に入る。（9：56）この道が旧街道である。ファミリーマートの左側の右カーブの道を進み、途中右の国道へ戻るように降りる。国道の急な下りは「観音苦行坂」という。左側に「大山道」石柱が草木に埋もれて立っている。（10：02）

### 大山道

「大山参りの人々がよく利用した道だったのでこの名があります。また、『埼玉往還』『八王子道』などとも呼ばれ、この坂は『観音苦行』といわれる難所でした」

大山道石柱から170m程の信号交差点を右折。国道をくぐり右折して国道に沿って進むと「日枝神社」がある。（10：11）角に「石仏、石塔群」がある。

5体の石仏、石塔は国道を造るときに集約。剥落が激しく、詳細不明。1体は一石地藏。右端は不動明王か？。

国道の左側に戻り右折。次の信号交差点・作ノ口交差点で左の県道508号線を進む。作ノ口交差点から220m程で右斜めに入る道があり（10：22）、奥に「上溝川辺公園」があり、トイレもあるので休憩する。（10：22～34）

公園から1kmで上溝本町交差点（左折500m程にJR相模線上溝駅）で更に560mで「ちとせ橋」交差点の先で鳩川を渡る。県道を500m程進むと県道508号線と県道46号線の分岐の田尻交差点があり（11：12）、両県道の分岐点角に「不動講供養塔他石仏石塔」がある。ここには「不動講供養塔」「一石六地藏」他が祀られており、傍らに「大山道」の標柱もある。

### 大山道

「大山参りの人々がよく利用した道だったのでこの名があります。この不動明王の石仏はその道しるべでもありました。また、『埼玉往還』『八王子道』と呼ばれることもありました」

JR相模線番田駅前の蕎麦屋で昼食とするために、県道508号線の街道から分かれ、11：15田

尻交差点で左斜めへ行く県道46号線を進む。途中道を間違っとうろうろしたが、番田駅入口交差点からなんとか駅前の蕎麦屋「満留賀」に着いて食事でありついた。(11:40~55)

蕎麦屋から県道46号線に出て左折。上番田信号交差点を右折し3・400m進んで国道129号線・県道508号線に合流し左折。合流点から途中「上溝南高校前」交差点を通り約380mで県道508号線は国道129号線と分かれ、斜め左に入る。(12:10) この道が旧街道。

国道129号線から分かれて県道508号線を650m程進むと県道の左側にバス停(天満宮入口)があり、右側に「天満宮」の看板がある。強引に県道を横切り、右斜めの道に入る。この道が旧街道と思われる。110m程の右に「天満宮」がある。(12:24)

**天満宮** 鎮座地 相模原市当麻一番地

祭神 菅原道真公 《由緒については、ガイドを見て下さい。》

12:28、天満宮を出、140m程の三叉路を左折、道路右側の歩道を進み、県道508号線に架かる歩道橋を渡る。渡って右の階段を降りると、左手に上る道がある。上がると「無量光寺」の境内である。(12:33~47)

**無量光寺**

無量光寺の正式名は、「當摩山金光院無量光寺 當麻道場」といい、宗派は時宗。本尊は木造一遍上人立像。《縁起については、ガイドを見て下さい。》

境内の池の脇に移設された「当麻山道道標」がある。

**当麻山道道標**

判読は難しいが、正面『遊行元祖 一遍上人 當麻山道』、右面『文久元辛酉年八月廿二日建立十本の内』と刻まれているとのこと。

「当麻山道」は、多摩方面から木曾で境川を渡り、龍像寺坂から上溝と下溝の境を進んで当麻に向かう道。「道標」は文久元年(1861)に同時に10基設置されたようで、少なくとも3基現存している。

本堂左後方に2基の五輪塔がある。

**お髪五輪塔**と称されている。《詳しくはガイドを見て下さい。》

池やまだ緑だが美しいモミジ、一遍上人像を見、本堂でお参りをし、南の参道を進む。二脚の山門をくぐって、坂を下ると、冠木門の外門がある。無量光寺の境内は、亀の形をした丘にあることから亀形峯と呼ばれており、外門は丁度亀の尻尾にあたる。

外門から県道52号線に出て(12:48)、側道を東へ進む。間違っって早めに左折してしまい、気がついて県道に戻り、住民に「当麻東原(あずまはら)古墳」の場所を尋ね、細い急坂の「あずま坂」を上った所に「当麻東原公園」があり、公園に「当麻東原古墳」があった。(13:01)

**当麻東原古墳(たいまあずまはら古墳)**

《古墳の説明は、ガイドを見て下さい。》

古墳からJR相模線原当麻駅まで約500m。一直線。13時13分、原当麻駅に着き、13時26分発に橋本行きに乗る。

久しぶりに長距離を歩きました。



五差路交差点



観音苦行坂



観音苦行坂・大山道石柱



日枝神社



上溝川辺公園・休憩



田尻交差点・不動講供養塔他石塔石仏



昼食場所



天満宮



当麻山無量光寺



二脚の山門



参道



無量光寺・外門